

早稲田学区地域防災プラットフォーム

早稲田学区では、防災に強いまちづくりを進めるため、外部機関・団体を含めたネットワークを創り、地域防災力の向上を目指しています。

地域防災プラットフォーム構想の理念

地域防災力を支えるコミュニティは、地域活動の担い手である社協や町内会を主体として形成されてきましたが、防災・減災に関わる関係機関、各種団体の活動や取り組みについては、十分な連携がとれているとは言えません。

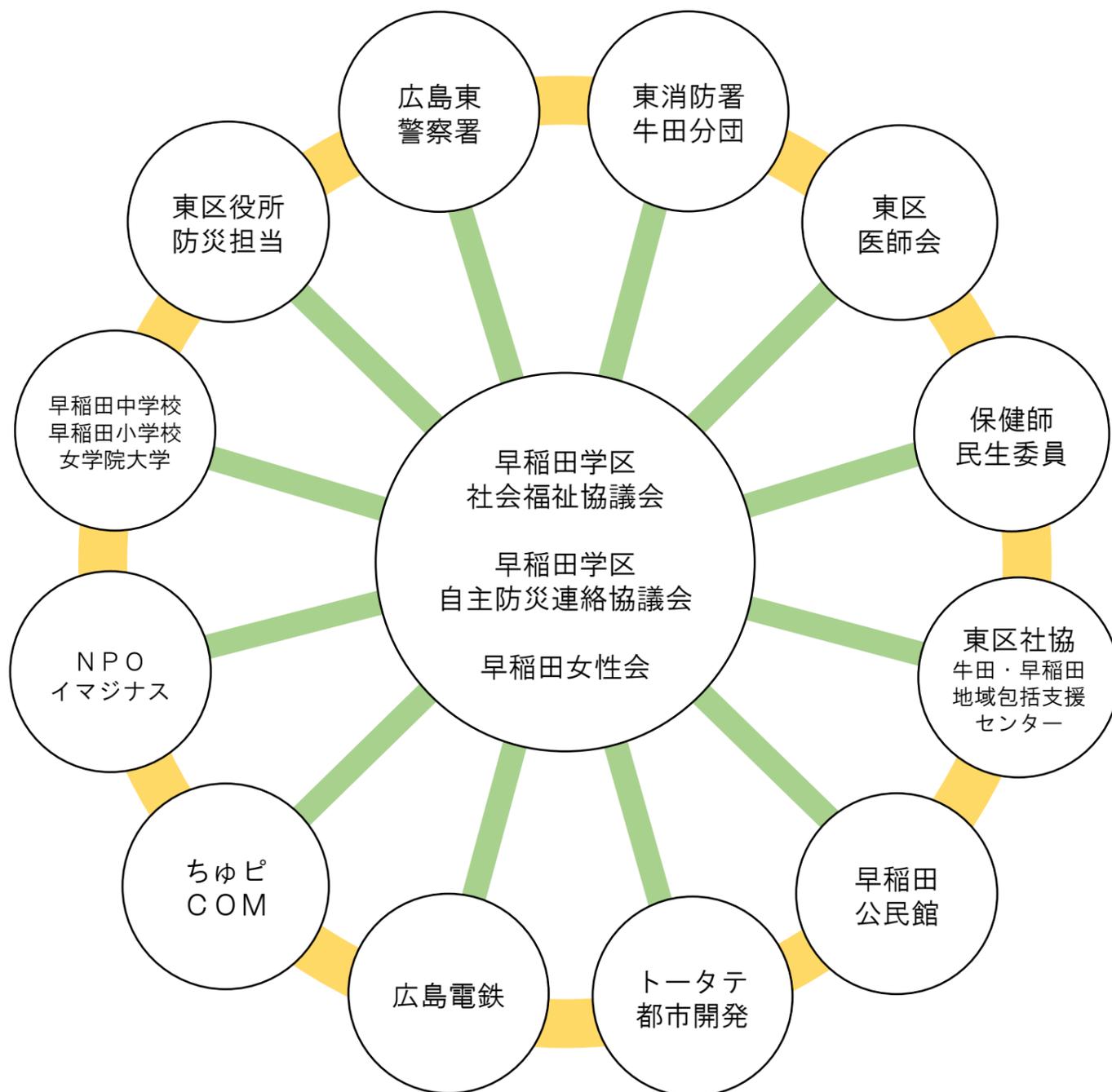
そこで、自主防災活動の担い手となる社協および自主防災会を基盤として、地域防災に関わる警察・消防・医療・保健・教育・メディア・NPOなどの関係者が日常的に交流する場として「地域防災プラットホーム」を構想します。

この地域防災プラットホームでは、参加者がお互いの活動について情報・意見交換をすることで「顔の見える」ネットワークを作り、防災・減災につながることを目指します。



地域防災プラットフォームの会議の様子

プラットフォームのネットワーク図



活動の予定

通常は、3カ月に1回程度の開催とし、地域の防災体制などに関する意見交換等を行います。また、災害発生時には、必要に応じ対応します。